

2016.1.22 [fri]

【会場】政策研究大学院大学

想海樓ホール(東京都港区六本木7-22-1)

【参加費】無料 ※情報交換会は、4,000円の参加費を頂戴します

NETWORK

CONCEPT

2020年東京オリンピック・パラリンピックでは、スポーツのみならず、全国で文化プログラムの実施が予定されており、実演芸術にとっても、国内外での発展の大きな契機になると考えられます。さらには、2020年以降の持続的な発展のために、大会後の展望についての議論が急務となっています。

実演芸術の担い手となる人材を育成し専門性を高めるとともに、これまでに各分野で個別に培われてきたネットワーク形成や国外に向けた発信の事例を、実演芸術全体の財産として課題を含めて共有し、分野を超えて共に考えていくことが必要ではないでしょうか。

このシンポジウムでは、実演芸術活動を国際的に展開し、さらに活動を継続していくために、多様な実演芸術の専門家同士の交流の機会を生み出し、横断的なネットワークの構築を促すことを目指します。

SCHEDULE ※日英同時通訳あり

13:00—13:15

開会挨拶

文化庁

今野雅裕(政策研究大学院大学 学長特任補佐/教授)

13:15—13:50

基調講演

安藤裕康(国際交流基金 理事長)

14:00—16:00

▶第1部/国を超えたネットワーク構築について、アジアに焦点を当て、オーケストラ、児童・青少年演劇における事例を紹介。発足の経緯や理念を踏まえ、今後の相互交流と事業展開を考えます。

●パネリスト

キム・スキ(アシテジ韓国センター 会長)

アチャラ・テジャパイブル

(バンコク交響楽団財団 ディレクター・事務局長/

アジア太平洋地域オーケストラ連盟 副会長)

大野幸則(アシテジ日本センター 副会長)

加納民夫(日本オーケストラ連盟 参与)

●進行

垣内恵美子(政策研究大学院大学 教授)

16:15—17:45

▶第2部/日本の芸術文化を世界に発信していくためには、どのようなことが必要とされるでしょうか。ポピュラーミュージック、伝統音楽を事例に、国内外での展開と国内での基盤づくりの両面から、今後のあり方を考えます。

●パネリスト

後藤 匡(SYNC MUSIC JAPAN事務局長)

藤本 草(日本伝統文化振興財団 会長)

〈進行〉徳丸吉彦(聖徳大学 教授)

18:00—19:30

情報交換会

文化庁委託事業「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」「実演芸術連携交流事業」

シンポジウム『実演芸術で世界とつながる』
分野を超えてネットワークを広げ、深めるために

政策研究大学院大学
NATIONAL GRADUATE INSTITUTE
FOR POLICY STUDIES

同時開催



ポスターセッション
「GRIPSにおける文化政策研究の最前線—実演芸術編—」

政策研究大学院大学(GRIPS)文化政策プログラムのメンバーが、実演芸術分野で挙げってきた研究成果を、想海樓ホールロビーで展示発表。さまざまな課題や研究を共有し、発表者と来場者皆様との交流を目指します。シンポジウムと併せてご覧ください。

コーディネーター…志村聖子(政策研究大学院大学文化政策プログラム研究助手)

文化庁委託事業「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」「実演芸術連携交流事業」
主催/文化庁 公益社団法人日本芸能実演家団体協議会(芸団協) 政策研究大学院大学
後援/国際交流基金

協力/公益社団法人日本オーケストラ連盟

アンテナ(国際児童青少年舞台芸術協会) 日本センター

劇場、音楽堂等連絡協議会





文化庁委託事業『次代の文化を創造する新進芸術家育成事業「実演芸術連携交流事業」』

この事業は、国内外のプロデューサー、アートマネジメント人材、舞台スタッフ、実演家等の人材交流の促進を通じて、芸術文化を支えるグローバル人材の育成、芸術文化の国外への強化を図り、わが国の実演芸術の一層の振興に資することを目的としています。今年度は、「国内専門家フェローシップ制度」「全国劇場・音楽堂等連携フォーラム」「実演芸術国際シンポジウム」の3つの取り組みを実施しています。<https://www.geidankyo.or.jp/renkeikoryu/>



PANELIST PROFILE

キム・スキ Sookhee KIM

アシテジ(国際児童青少年演劇協会)韓国センター 会長

バンコク交響楽団の創立メンバー。オーケストラの運営に携わり、タイにおける西洋音楽の振興のため、コンサート活動および音楽教育に、30年以上に渡り、力を注いできた。1992年からはバンコク・ルンビニー公園で無料コンサートを実施しているほか、1996年には演奏者、特に弦楽器奏者の不足を補うための音楽学校を創立。アジア太平洋地域オーケストラ連盟副会長を務めるほか、「クラシック音楽教育基金」のボードメンバー、アジア文化芸術交流促進連盟(FACP)の会長を兼任。

大野幸則 Yukinori Ohno

アシテジ(国際児童青少年演劇協会)日本センター 副会長

日本放送協会(NHK)にて「芸術劇場」、「N響アワー」、「音楽の広場」等、テレビ、ラジオ番組を演出。1987年NHK交響楽団に出演、演奏業務部長。指揮者マネジメント、プログラム構築等を担当。1990年NHK退職後は音楽番組部長、FM放送副編集長、大分放送局長などを歴任し、2002年NHKを退職。2008年までNHK交響楽団常務理事として演奏関連業務を担当。2009年日本オーケストラ連盟理事・事務局長に就任し、2012年より参与。2013年より独立行政法人日本芸術文化振興会芸術文化振興基金運営委員会音楽専門委員。

垣内恵美子 Emiko Kakiuchi

政策研究大学院大学 教授

アーティストのマーケティング、コンビニでの音楽ダウンロードやトヨタ自動車のコンテンツ配信事業、音楽SNS(Myspace)など、音楽業界と企業をつなぐ様々なコンテンツ事業に携わる。2010年3月に音楽業界3団体により設立された海外向け発信プロジェクトSYNC MUSIC JAPAN 運営事務局長を担当中。

藤本 草 Soh Fujimoto

公益財団法人日本伝統文化振興財団 会長

音楽学。音楽学と美学を主として東京大学で学び、お茶の水女子大学他に勤務し、現在は聖徳大学教授・京都市立芸術大学客員教授。最近の日本語著作は「音楽とは何か:理論と現場の間から」(岩波書店)と共編「世界音楽の本」(岩波書店)。ヴェトナム伝統音楽の活性化に努力し、国産の絹による箏弦の開発も行っている。

韓国の梨花女子大で博士号を取得。ドイツ、フランスに留学。アメリカのバージニア大学、韓国の成均館大学で教鞭を執る。現在は、韓国の極東大学演劇部で教鞭を執る。ソウル市教育庁政策委員会、韓国文化政策フォーラム副会長、韓国演劇教育連盟会長、韓国フランス芸術文化研究協会(CFAF)理事を歴任。

アチャラ・テジャパイブル Atchara Tejapaibul

タイ・バンコク交響楽団財団 ディレクター・事務局長／
アジア太平洋地域オーケストラ連盟 副会長

1975年よりオペレッタ劇団としてもしばしば、数々のオペレッタに出演、脚本を執筆。制作部長を経て1995年より株式会社としてもび代表取締役。1990年よりAPPN(国際児童・青少年演劇プロデューサーネットワーク)理事。現在、日本児童・青少年演劇劇団協同組合(児演協)代表理事、アシテジ(国際児童青少年演劇協会)日本センター副会長。

加納民夫 Tamio Kano

公益社団法人日本オーケストラ連盟 参与

東京大学法学部卒、シドニー大学大学院経済学修士、東京大学大学院工学博士。専門分野は、文化政策、文化資本の評価と持続的発展。主著書に「チケットを売り切る劇場」"Culture, Creativity and Cities"など。日本地域政策学会理事、日本計画行政学会評議員。日本都市計画学会論文奨励賞、日本計画行政学会論文賞。

後藤 匡 Tadashi Goto

SYNC MUSIC JAPAN 事務局長

民族音楽、クラシックを専門分野とする音楽プロデューサーとして、1000タイトルを超える作品を制作。著書に、「アーカイブのつくりかた」(共著、勉誠出版、2012年)、「アーカイブ立国宣言」(共著、ポット出版、2014)。現在、公財)日本伝統文化振興財団会長、公財)全国税理士共栄会文化財団理事、一財)合唱音楽振興会理事。東京文化発信プロジェクト委員、歴史的音盤アーカイブ推進協議会副代表幹事、東京・邦楽コンクール審査委員長等を歴任。

徳丸吉彦 Yosihiko Tokumaru

聖徳大学 教授



【問い合わせ】公益社団法人日本芸能実演家団体協議会[芸団協] 実演芸術振興部

〒160-8374 東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎2F

GEIDANKYO TEL:03-5909-3060 FAX:03-5909-3061 Eメール:entry@geidankyo.or.jp URL:<http://www.geidankyo.or.jp/12kaden/>

申込方法

- メール entry@geidankyo.or.jp …下記申込欄と同様の必要事項を明記してお送りください。
- FAX 03-5909-3061 …下記申込欄にもれなくご記入の上お送りください。

- ◆当日は取材、記録撮影などを行います。◆申込締切日後の参加申込や変更については担当までご確認ください。
- ◆Eメールの場合は、代表者が複数名分の申込みをされても結構です。ただし、担当職務・役職、情報交換会の参加有無など、必要事項は全員分もれなく明記してください。
- ◆会場の都合上、申込み多数など、ご希望に沿えない場合はその旨ご連絡いたします。
- ◆頂いた個人情報は、今後の同種の芸団協関連事業のご案内に使用させていただきます。

FAX申込フォーム 申込締切 1月15日(金)

ふりがな	ご担当勤務・役職	
お名前		
ご所属(団体名・館名)	TEL	FAX
E-mail		
☐ 情報交換会 ※参加希望の場合は ✓をつけてください		